

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

大学ラグビー選手における腰痛と体幹筋機能との関連

1. 研究の対象および研究対象期間

2021 年度から 2024 年度までに 2 年連続で昭和医科大学スポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行なった大学ラグビー選手のうち、選手背景（身長、体重、既往歴、ポジション）、問診票から腰痛の有無、体幹回旋可動域、体幹筋筋力が測定可能であった選手を対象とします。

2. 研究目的・方法

ラグビーはタックルなどを行うため、腰部への負担が大きいスポーツであり、腰痛の発生率が高いです。さらに腰痛発症後は競技復帰までに日数を要することもあり、ラグビー選手の腰痛の危険因子を検討することは重要です。先行研究では、ラグビー選手の腰痛に関連するものとして、大腿四頭筋やハムストリングスの柔軟性低下が報告されています。腰痛の予防には体幹安定性や胸郭回旋可動域が重要とも報告されていますが、ラグビー選手において、体幹回旋可動域や体幹筋機能低下が腰痛の危険因子になるかは不明です。大学ラグビー選手において、1 年次時点での腰痛の危険因子を明らかにできれば、ラグビー選手の腰痛を管理する上で重要な情報となると考えております。

本研究の目的は、大学ラグビー選手における腰痛有無と体幹機能の関係性を検討することです。

2021 年度から 2024 年度までに 2 年連続で本学スポーツ運動科学研究所でメディカルチェックを行なった大学ラグビー選手の診療情報を利用します。選手背景（身長、体重、既往歴、ポジション）、問診票から腰痛の有無、体幹回旋可動域、体幹筋筋力を調査項目とします。

体幹回旋可動域は胸部前方で両腕を組んだ肢位で測定し、体幹左右回旋可動域の平均値を算出します。

体幹筋機能は体幹の屈曲・伸展・左右側屈の耐久時間を計測し、側屈は左右の平均値を算出します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2027 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

選手背景（身長、体重、既往歴、ポジション）、問診票から腰痛の有無、体幹回旋可動域、体幹筋筋力

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学 スポーツ運動科学研究所 助教 阿蘇 卓也

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院

氏名：熊谷尚

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘2丁目1番1号

電話番号：045-974-2221/3636（内線）